

「NPO法人設立資金助成」贈呈式が全国各地で開催される!

平成14年度の「NPO法人設立資金助成（社会福祉助成）」は、42都道府県100団体への助成が決定しました。今年度は損保ジャパンの名のもと、初めての贈呈となるため環境財団の同趣旨の助成と足並みをそろえて実施し、その贈呈式は10月から全国39の損保ジャパンの部支店により一斉に開催されています。お忙しい中、ご協力いただいた部支店の皆様には、損保ジャングループとしての社会貢献の一翼を担っていただき有難うございました。全国各地で新聞紙上などに掲載された下表の贈呈式の模様を中心に5ページ以降で特集しています。(12/11 現在報告分)



首都圏地区贈呈式
(H14.10.29 於損保ジャパン本社ビル)



<平成14年度 「NPO法人設立資金助成贈呈式 (H14.12/11 報告分まで) >

NO	開催部支店	掲載紙	ページ	NO	開催部支店	掲載紙	ページ
1	札幌中央支店	贈呈式写真	5	17	富山支店	富山新聞	12
2	東北海道支店	十勝毎日新聞	5	18	福井支店	福井新聞	12
3	岩手支店	岩手日報	6	19	滋賀支店	毎日新聞	13
4	秋田支店	秋田魁新報	6	20	兵庫業務部	神戸新聞	13
5	山形支店	山形新聞	7	21	山口支店	山口新聞	14
6	仙台支店	河北新報	7	22	鳥取支店	日本海新聞	14
7	福島支店	福島民報	7	23	島根支店	山陰中央新報	14
8	茨城支店	茨城新聞	8	24	高松支店	四国新聞	15
9	茨城南支店	茨城新聞	8	25	高知支店	高知新聞	15
10	栃木支店	下野新聞	8	26	徳島支店	徳島新聞	15
11	松本支店	長野日報	9	27	福岡中央支店	西日本新聞	16
12	長野支店	信濃毎日新聞	9	28	佐賀支店	佐賀新聞	16
13	静岡支店	静岡新聞	10	29	沖縄支店	沖縄タイムズ	16
14	東静岡支店	静岡新聞	10	30	熊本支店	熊本日日新聞	17
15	岐阜支店	岐阜新聞	11	31	宮崎支店	宮崎日日新聞	17
16	金沢支店	北国新聞	11	32	鹿児島支店	大島新聞	18

(注: マスコミ・写真の掲載のある部支店のみ掲載しております。)

寄付金の御礼

●小林 良一様から、ホールインワン達成記念に寄付を頂きました。
ありがとうございました。



記念財団からのお知らせ

★ 記念財団って何をしているの？ ★

(株) 損害保険ジャパンが基本財産を拠出している財団は、「損保ジャパン記念財団」「損保ジャパン美術財団」「損保ジャパン環境財団」と3つありますが、それぞれの事業を監督する主務官庁が異なることから別々に設立されています。

(記念財団：厚生労働省、美術財団：文部科学省、環境財団：環境省)

「美術財団と環境財団は名前から財団の内容が判るけど、記念財団って何をやっているのかよく判らない」との声がたまに社内外から聞こえてきます。本号では記念財団を少しでもご理解いただけるよう最終ページに「事業の概要」を一表にして添付しましたのでご参照下さい。(記念とは：新宿本社ビル完成〔76年〕三好元社長の叙勲〔77〕創業90周年〔78〕)この節目の1977年に設立された記念財団は今年で26年目を迎えますが、その事業を一言で言えば「福祉と保険」とご理解ください。一表掲載の事業を通し、今後増加していく障害者や高齢者にとってますます重要になってくる福祉や保険の分野を中心に、損害保険ジャパングループとしての社会貢献の一翼を担っていくことを第一の目的としています。また、記念財団が長年にわたり構築してまいりました、財団役員を始め評議員・選考委員・審査委員の皆さま、多くの関係団体との広範なネットワークの一層の拡大も重要な役割となっています。

我が国には、主要な助成財団が約600法人程設立されており、科学技術や教育、福祉等の各方面にわたる助成活動を行い、その助成総額は年間約500億円とされています。その中において当記念財団は、資産規模や事業規模において決して大きな財団ではありませんが、事業分野においては先駆的・ユニークで特徴ある活動が広く知られた財団となっています。今後とも当財団へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

★ 財団事務所を移転しました ★

12月16日より、下記の通り財団事務所を移転いたしました。

お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。笑顔でお待ちしています。



<新住所>

〒160-0022

東京都新宿区新宿3-1-16

損保ジャパン新宿東ビル11階

電話：03-5919-0711

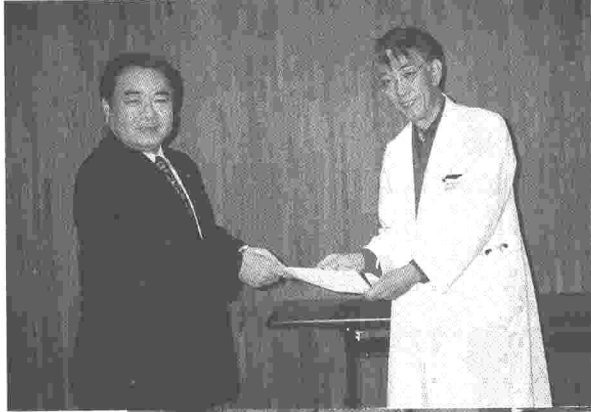
FAX：03-5919-0710

<交通のご案内>

- JR新宿駅南口・東口より徒歩5分
- 営団地下鉄丸の内線・新宿3丁目駅A1出口至近
- 都営地下鉄新宿線・新宿3丁目駅A1出口至近

全国贈呈式特集

NO.1 札幌中央支店 贈呈式写真 (10/25.29)



エルム運営委員会 様



ホップ障害者地域生活支援センター 様

支店		支店		支店		支店		支店	
支店名	支店名	支店名	支店名	支店名	支店名	支店名	支店名	支店名	支店名
札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	福岡	札幌	仙台	東京	名古屋
旭川	青森	横浜	京都	神戸	広島	旭川	青森	横浜	京都
旭川	青森	横浜	京都	神戸	広島	旭川	青森	横浜	京都
旭川	青森	横浜	京都	神戸	広島	旭川	青森	横浜	京都

NO.2 東北海道支店 十勝毎日新聞 (10/13)

その他

◆財団法人損保ジャパ
ン記念財団(有吉孝一理
事長)がNPO法人設立
資金援助

このほど、損保ジャパ
ン東北海道支店帯広支社
(市内東1南10)で贈呈
式が行われ、訪問看護な
どに取り組む鹿追町の地
域生活支援センター(か
しわのもり)(松山雅一
代表)に30万円が贈呈さ
れた。写真。



十勝の団体が同財団か
ら助成金を受けたのは初
めて。同財団と財団法人
損保ジャパン環境財団の

「NPO法人設立資金助
成」は4年目を迎え、今
年は全国115の団体に
各30万円の助成を行って
いる。
損保ジャパンの千葉佳
史東北海道支店長、塚井
敏昭帯広支社長らが出席
し、松山代表に目録を手
渡した。松山代表は「す
でに業績のあるNPO法
人ではなく、これから立
ち上げを目指す団体に援
助が出るのは本当にあり
がたい」と感謝していた。

NPO「ふくとびあ
水沢」に30万円寄付

損保ジャパン財団

財団法人損保ジャパン
記念財団(有吉孝一理事
長)は八日、民間非営利
団体(NPO)法人・ふ



〔横田龍夫常務執行役員か
ら助成金の目録を受け取る
伊達真司理事⑤〕

円を贈った。

贈呈式は水沢市佐倉河
のホテルで行われ、横田
龍夫損保ジャパン常務執
行役員は「多くの応募か
ら選ばせていただいた。
積極的に事業を展開して
ください」と伊達真司ふ
くとびあ水沢理事に目録
を手渡した。
ふくとびあ水沢は複数
の障害者ボランティアが
集まって結成。七月にN

くとびあ水沢(及川清隆
理事長)に助成金三十万

P.O.法人の登記を終え、
今月から同市東町に地域
生活支援センター水沢を
開設した。
活動は、障害者ボラン
ティアを支援、育成しネ
る。
ツトワークを構築する事
業と、精神障害者に対す
る食事、通院などの生活
支援の二本立て。胆江地
区を中心に活動を展開す

宮古のNPO
に助成金贈る

損保ジャパン財団

財団法人損保ジャパン
記念財団(有吉孝一理事
長)は十日、二〇〇二年
度の民間非営利団体(N
P.O.)法人設立資金助成
金として、宮古市保久田
の宮古地区いきいきワー
キングセンター(及川新
理事長)に三十万円を贈
った。

贈呈式は同市保久田の
市中央公民館分館で行わ
れ、関係者十人が出席。
森合康和損害保険シヤパ
ン岩手支店長は「活発な
活動を通し、地域の社会
福祉向上へ貢献されるこ
とを期待する」とあいさ

〔森合康和支店長から助成
決定通知書を受ける赤沼孝
裕副理事長⑤〕



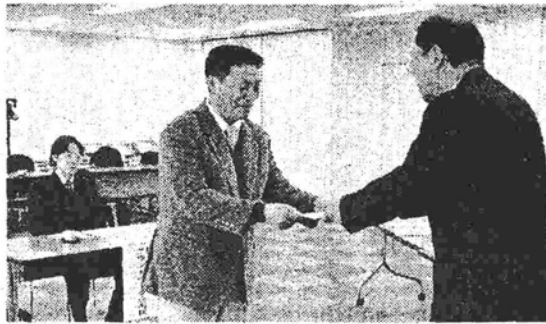
つし、赤沼孝裕副理事長
に助成決定通知書を手渡
した。

赤沼副理事長は「障害
児を含め、障害者の社会
自立支援へ有効に活用し
たい」と意欲を述べた。
同センターは、今年八
月に法人認証を取得。障
害者の社会参加や自立を
目指し、就業支援事業な
どを展開している。

◆損保ジャパン記念財
団が助成 28日、秋田市
のNPOアイアンドユウ
(保坂敦子代表理事)に
設立資金30万円。同NP
Oは、障害者や高齢者を
対象にヘルパーを派遣す
る。同財団は、社会貢献
として毎年、全国100
団体に助成している。

NPO法人の設立支援

損保ジャパン 県内2団体に30万円



県内2団体にNPO設立の助成金が贈られた

損保ジャパン記念財団(有吉孝一理事長)と損保ジャパン環境財団(後藤ジャパン環境財団)は三十日、藤原理事長は三十日、NPO(民間非営利団体)法人設立を目指す県内二

つの団体に助成金を贈呈した。助成先は、知的障害者の社会復帰を目指す、あずまうこぎの会(米沢市、情野順治代表)と、庄内一円の環境保全活動を支援する、環境協働組織・グランドワーク庄内(鶴岡市、風間真一代表)の二つ。山形市松波一丁目の損害保険ジャパン山形支店で贈呈式が行われ、飯田二郎支店長から両団体の代表者に助成金三十万円を贈った。同記念財団は社会福祉活動を、同環境財団は地球環境保全活動をそれぞれ推進する目的で、一九九九年度からNPO法人設立資金を助成。今回は全国で、前者が応募数二百八十五件から百団体、後者が同四十四件から十五団体に総額三千四百五十万円を贈呈する。



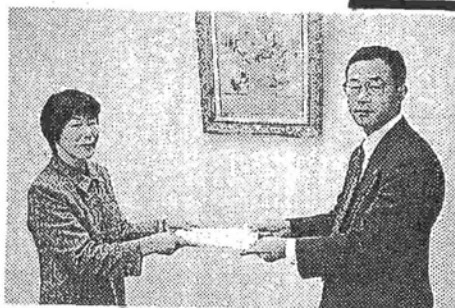
☆二つのNPOを助成 損害保険ジャパン仙台支店はこのほど、障害者や高齢者を支援する仙台市内の二つの民間団体に対し、特定非営利活動法人(NPO法人)の設立資金として三十万円を助成した。篠崎暁支店長(五)「写真」は「利益の一部を社会に還元するのは、地域で営業する企業の役割」と語る。同社は今年七月、安田火災海上保険と日産火災海上保険が合併して誕生した。福祉団体やNPOなどへの助成は安田火災が合併前から続けている。「新会社の下でもこれまで同様、社会貢献活動に力を入れていきたい」と意気込む。

「利益の一部を社会に還元するのは、地域で営業する企業の役割」と語る。同社は今年七月、安田火災海上保険と日産火災海上

こころネット ワークに助成金 損保ジャパン記念財団

財団法人「損保ジャパン記念財団」は六日、精神障害者の生活支援を行う県南地方のNPO法人「こころネットワーク県南」に助成金三十万円を贈った。

社会福祉への貢献活動として助成を続けており、こころネットワークは今年度の贈呈先として全国の九十九施設とともに選ばれた。福島市の損



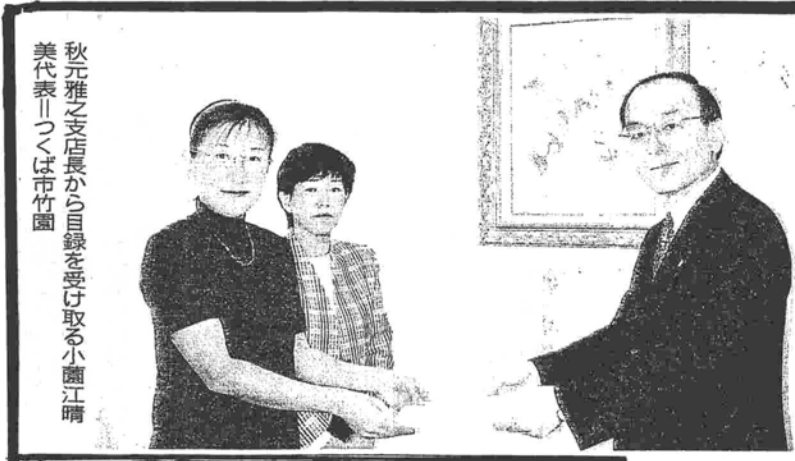
島支店長から通知を受け取る熊田副理事(左)

保ジャパン福島支店で贈呈式を行い、島文夫支店長が熊田芳江副理事に助成決定通知を手渡した。今年一月に設立されたこころネットワーク県南は、精神障害者の地域生活支援センターの設立準備を進めている。

損保ジャパン
記念財団

NPOに助成金

ポランの広場へ30万円



秋元雅之支店長から目録を受け取る小蘭江晴美代表（つくば市竹園）

損保ジャパン記念財団（有吉孝一理事長）の二〇〇二年度社会福祉助成金贈呈式が二十九日、つくば市竹園の損害保険ジャパン茨城南支店で行わ

れ、NPO法人「ポランの広場」（小蘭江晴美代表）に助成金三十万円の目録が贈られた。同助成事業は、前身の安田火災記念財団が一九七七年に設立されて以降、全国の福祉団体を対象に実施。九九年からは社会福祉分野でNPO法人設立を目指す団体を対象に助成事業を展開している。

本年度は全国二百八十五団体から助成の申し込みがあり、百団体への助成が決まった。本県ではポランの広場と「スペース空」（日立市、三浦剛代表）の二団体が助成団体に選ばれた。

ポランの広場は、養護学校に通う主に知的障害のある子どもたちの親たちが、学童保育活動を実施するため九一年四月に設立。保育だけでなく、心身の発達を促進するための水泳療法や太鼓を使った音楽療法なども実施している。この六月に任意団体からNPO法人化した。

贈呈式では、秋元雅之茨城南支店長から小蘭江代表に助成金の目録が手渡された。小蘭江代表は「大変ありがたい。NPO法人化に伴う事務のO

「A化に使いたい」と感謝していた。

全国NPO

県内のNPO 2団体を助成

損保ジャパン

財団法人損保ジャパン記念財団と損保ジャパン環境財団は三十日、県内の民間非営利団体（NPO）法人二団体にNPO法人設立資金として各三十万円を助成した。

同財団は一九七七年から毎年、全国の福祉団体などに対する助成を行ってきた。本年度は真岡市の障害者支援団体「なす



贈呈式に臨んだ荒川専務理事（右から2人目）、渡辺会長（同3人目）ら

「県自然環境保全センター」を含む、全国百十五団体が選ばれた。

この日は宇都宮市本町一丁目の損保ジャパン栃木支店で贈呈式が行われ、光内俊雄支店長が両団体の代表者に助成金を手渡した。なすの会の渡辺美恵子会長は「障害のある人たちを地域で支えていこうという機運は高まっている。活動を通して、その姿勢を見せていかなくては」と話した。

自然環境保全センターの荒川恒昭専務理事は「助成金を活用して、広報面に力を入れていきたい」と抱負を語った。

NPO 設立資金に

市身障協に助成金30万円

ジャパ
ン記念財団
損保

岡谷市身体障害者協会（堀内一光会長）は三十日、財団法人損保ジャパン、財団法人損保ジャパン記念財団（本部・東京）からNPO法人設立資金として助成金三十万円を受け

同協会は障害者の自立支援のボランティアなどに取組んでおり、八日に県へ正式にNPO法人設立の認

申請費用にあてるほか、デスクワークでのリハビリに使用するハンドベルの購入に役立てる予定。来年一月からNPO法人として身障者デスクワーク事業を



助成金を受け取る堀内会長ら

中心に活動していく。贈呈式は諏訪市諏訪の損害保険ジャパン諏訪支社で行われ、堀内会長は「企業に協力してもらい、行政の行き届かないことに取り組んでいきたい」と、今後の活動に意欲を示していた。

同財団による助成金事業は地域福祉の向上に役立つ

酒類、小野酒造醸

て、NPO法人の設立を支援するのがねらい。今年度も含め過去三年間に全国で四百の福祉団体に一億二千万円が贈られている。

損保ジャパン記念財団の助成決定通知を受け取る吉田代表（左）



坂城のNPOに法人助成金贈る

損保ジャパン記念財団坂城町平沢で、障害者とリンゴ栽培やみそ造りをしているNPO法人「やまびこ舎」（吉田超代表）に二十二日、損保ジャパン記念財団からNPO法人設立資金三十万円が贈られた。

損害保険ジャパン長野支店の入雅樹支店長から決定通知を受け取った吉田代表は、「火災ですべてを無くして五年前に再出発したが、今日をきりかけに新たな歩みをした」と話した。

やまびこ舎は一九八五（昭和六十）年設立。九三年に入所者一人が焼死する火災があった。現在の会員は賛助会員を含め百七十五人。十五日に県からNPO法人の認証を得た。

同財団のNPO助成は四年目。本年度、県内では松本市のケアタウン・浅間温泉、岡谷市身体障害者協会も助成を受けた。